

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	観光企画課	職	次長兼課長	氏名	山下 活博
評価者	組織	観光企画課	職	課長	氏名	西尾 和秀
	組織	誘客戦略課	職	課長	氏名	上出 孝之

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	24,588 (H28)	24,753 (H29)	B
施策2	次代を担う石川の観光人材の育成に向けた取組を強化	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	24,588 (H28)	24,753 (H29)	B

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
						(年度)	(年度)						
施策1	課題1	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	24,588 (H28)	24,753 (H29)	1 いしかわスイーツ博開催事業	観光客全般	10,000	10,000	B	継続
								2 金沢城・兼六園四季物語開催事業	観光客全般	17,600	17,600	B	継続
								3 いしかわの観光資源商品化促進事業	観光事業者、旅行会社等	4,000	3,400	A	継続
	課題2	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	24,588 (H28)	24,753 (H29)	1 観光客の声を活かすおもてなし向上事業	観光客全般	2,000	2,000	B	継続
							2 ウェルカムいしかわ推進事業	観光事業者、一般県民	400	160	B	継続	
課題3	石川ならではの魅力の発信	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	24,588 (H28)	24,753 (H29)	1 「旬のいしかわ」ウェブプロモーション事業	一般観光客	9,000	9,000	B	縮小	
							2 ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	一般観光客	149,150	149,150	B	継続	
課題4	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	24,588 (H28)	24,753 (H29)	1 加賀温泉旅館等誘客促進事業	観光客全般	18,000	8,841	B	継続	
施策2	課題1	観光振興を担う人材の育成	観光入り込み客数	千人	30,000 (H37)	24,588 (H28)	24,753 (H29)	1 次代を担う石川の観光人材育成事業	観光事業者、一般県民	3,000	2,850	B	継続

※人数については、暦年の数値である

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	いしかわスイーツ博開催事業	事業開始年度	H24	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	観光企画課		
成	職	・氏名	主事 三浦 麻美		
者	電	話番	076	-	225 - 1542 内線 3925

◎事業の目的
「菓子処石川」において、特に女性に人気の高いスイーツをテーマにしたイベントを行うことにより、石川ファンを増やし、観光誘客を図る。

◎事業の概要

(1) 主催 石川県、(公社)石川県観光連盟
 (2) 協力 石川県菓子工業組合、(一社)石川県洋菓子協会
 (3) 後援 北國新聞社
 (4) 内容 百万石の菓子文化 いしかわスイーツ博2017

○イベント

- ・開催日時 平成29年10月14日(土)、15日(日) 両日とも10:00～17:00
- ・会場 石川県政記念しいのき迎賓館
- ・内容 県内和洋菓子店による菓子販売
 県産食材を使った「イベント限定」菓子の販売
 和菓子づくり体験(上生菓子など)
 パティシエ等が制作した飴細工作品などの展示

○スタンプラリー

- ・実施時期 平成29年10～12月
- ・実施エリア 県内全域
- ・内容 県内の和洋菓子店や菓子文化に関連する施設を巡るスタンプラリー

○菓子文化体験ツアー

- ・実施時期 平成29年10～11月
- ・実施エリア 金沢、加賀、能登
- ・内容 工場見学や菓子作り体験のほか、半世紀ぶりに復活した「菓子かいせき」などを組み込んだ、石川の菓子文化を堪能してもらうためのモニターツアー

(5) 事業費 16,000千円(県 10,000千円、市町等 6,000千円)
 (6) 交付先 (公社)石川県観光連盟

施策・課題の状況																		
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り越し本果を防いでいただくよう石川ファンを拡大					評価	B											
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大																	
	指標	観光入り込み客数				単位	千人											
	目標値	現状値																
	平成27年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度												
	30,000	21,632	21,611	25,018	24,588	24,753												
事業費																		
	(単位：千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度												
事業費	予算	15,000	15,000	25,000	15,000	10,000												
	決算	15,000	15,000	25,000	15,000	10,000												
一般	予算	15,000	15,000	0	0	10,000												
	決算	15,000	15,000	0	0	10,000												
事業費累計		15,000	30,000	55,000	70,000	80,000												
評価																		
項目	評価	左記の評価の理由																
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	イベントは天候がすぐれず、入込数も伸びなかったが、H29年度で6回目の開催となり、秋の大規模イベントとして定着したことから、石川の菓子文化の発信に一定の効果があると言える。 <イベント入込数> <table border="1" style="margin: 5px auto; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">19.5千人</td> <td style="text-align: center;">21.0千人</td> <td style="text-align: center;">22.0千人</td> <td style="text-align: center;">42.0千人</td> <td style="text-align: center;">42.0千人</td> <td style="text-align: center;">17.0千人</td> </tr> </table> ※H27は井サミットとの合算 ※H28は食のてんこもりフェスタとの合算					H24	H25	H26	H27	H28	H29	19.5千人	21.0千人	22.0千人	42.0千人	42.0千人	17.0千人
H24	H25	H26	H27	H28	H29													
19.5千人	21.0千人	22.0千人	42.0千人	42.0千人	17.0千人													
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県間互のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続	秋の金沢で開催される大規模イベントとして、「るるぶ」や「じゃらん」といった旅行雑誌や観光客の方が現地です手に取ることの多い地元フリーペーパーで紹介されており、秋の金沢で開催される大規模イベントとして定着してきたことから、H30年度は、SNS投稿キャンペーンやメディア関係者等向けツアーを行うなど情報発信を充実させ、更なる誘客を図る。																

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 「金沢城・兼六園四季物語」開催事業	事業開始年度	H14	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		
作成者				組織 観光企画課
				職・氏名 主事 塩田 顕成
				電話番号 076 - 225 - 1542 内線 3926

●事業の背景・目的

金沢城公園や兼六園などを舞台に、夜の魅力アップを図ることを目的に、四季を通じてイベントを開催し、観光石川の魅力を県内外にアピールすることで、石川ファンを増やし、観光誘客を図る。

●事業の概要

- ・金沢城・兼六園ライトアップ

雰囲気異なる金沢城・兼六園の特徴を活かしたイベントを実施(計57日間)

タイトル	開催日	開催時刻	備考
春の段 (5日間)	平成29年5月2日(火)～5月6日(土)	18:30～21:00	ライトアップ
初夏の段 (3日間)	平成29年6月2日(金)～4日(日)	19:00～21:00	ライトアップ
夏の段	(4日間) 平成29年6月23日(金)、24日(土) 平成29年6月30日(金)、7月1日(土)	19:30～21:00	ライトダウン (蛍鑑賞会)
	(3日間) 平成29年8月10日(木)～12日(土)	18:30～21:00	ライトアップ
秋の段 (23日間)	平成29年11月17日(金)～12月9日(土)	17:30～21:00	ライトアップ
冬の段 (19日間)	平成30年2月2日(金)～20日(火)	17:30～21:00	ライトアップ

●負担金交付先・事業規模

- ・交付先：石川の四季観光キャンペーン実行委員会（会長：石川県観光戦略推進部長）
- ・事業規模：26,654千円（県負担 17,600千円、金沢市負担 8,300千円、繰越金754千円）

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	B
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	30,000	21,632	21,611	25,018	24,588	24,753

事業費					
(単位：千円)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	8,729	12,763	17,600	17,600	17,600
一般	8,719	12,763	17,600	10,200	17,600
財源	10,662	12,763	17,600	10,200	17,600
事業費累計	103,451	116,214	133,814	151,414	169,014

評価	
項目	評価
	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">B</div> 来園者へのアンケートによると、県外の方が8割以上であるとともに、「またライトアップにきたい」という人が「約9割」となっていることから、県外客の本県への誘客に貢献していると考えます。 ※H29来園者数: 141,668人
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; text-align: center;">継続</div> 金沢城公園・玉泉院丸庭園・兼六園といった県の有力な観光施設を三位一体で見せることにより、夜の観光資源として定着してきている。 今後も、来園者や旅行会社からの意見やニーズを踏まえ、時期に応じたライトアップの内容とするとともに、効果的な開催時期を設定するなど、まだ来園したことが無い人はもとより、既来園者にもリピーターとなってもらえるよう、引き続き魅力あるイベントとなるよう取り組む。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 いしかわの観光資源商品化促進事業	事業開始年度	H29	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	観光企画課
	職・氏名	専門員 本庄 有紀子
	電話番号	076 - 225 - 1539 内線 3921

事業の背景・目的

北陸新幹線金沢開業効果の全県波及と持続発展を図るため、平成26年度から「いしかわ旅行商品プロモーション会議」を開催し、地域の観光資源の発掘・磨き上げを進め、旅行商品化につなげる取り組みを行ってきた。

29年度は新たに、旅行商品の造成に精通した「旅行商品企画マネージャー」を石川県観光連盟に配置し、観光資源の更なるブラッシュアップと首都圏等の旅行会社へのプロモーションを一層強化する。

事業の概要

旅行商品造成に精通した旅行商品企画マネージャー(大手旅行会社からの出向)を石川県観光連盟に配置

(業務内容)

- (1) 観光資源の更なるブラッシュアップによる新旅行商品の開発
- (2) 旅行会社へのプロモーション

施策・課題の状況					
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大	評価	B		
課題	新たな魅力づくりと満足度向上による石川ファンの拡大	評価			
指標	観光入り込み客数	単位	千人		
目標値	現状値				
平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
30,000	21,632	21,611	25,018	24,588	24,753

事業費					
(単位：千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算				4,000
	決算				3,400
一般	予算				2,000
財源	決算				1,700
事業費累計				0	3,400

評価		左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	A	旅行商品企画マネージャーの配置により、同氏による市町等への指導・助言や勉強会の開催等を通じ、旅行会社へ提案する観光資源のブラッシュアップ(現地へのアクセス方法の確保や観光素材を結んだ広域的な企画の開発)が図られた。また、県外の旅行会社へのプロモーションや、提案した素材の旅行商品化に向けたフォローアップ等の取り組みも含め、同氏の活動に対して旅行会社から高い評価をいただいております、当初想定していた以上の効果が出ている。
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続	上記のとおり事業の効果が現れていることから、引き続きマネージャーを配置し、観光資源の更なるブラッシュアップやプロモーションの強化を図る。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 観光客の声を活かすおもてなし向上事業	事業開始年度 H27	事業終了予定年度
	根拠法令・計画等 ほっと石川観光プラン2016	

作	組	織	観光企画課
成	職	氏名	主事 深澤 義史
者	電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3928	

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線により増加している観光客を「おもてなし」の心を持って迎え、観光地石川のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、お客様が本県に対し、どのように思っているのか、良い意見、悪い意見を問わず受け止め、広く観光業界全体で共有し、迅速かつ柔軟に対応できる体制を整えることを目的とする。

<事業の概要>

新幹線開業後の実態や問題点を把握し検証するため、「お客様の声」を募集する。併せて、同じクレーム等が発生しないよう、業界全体で「お客様の声」を共有し、「おもてなし」の向上を図る。

事業総額: 4,000千円
 負担割合: 1/2(県 2,000千円、市町等 2,000千円)
 交付先: (公社)石川県観光連盟

- (1) アンケートハガキ及びPR用ポスターの作成、設置
 設置先: 県内主要駅、道の駅、観光情報センター、空港、宿泊施設 等
- (2) 観光関係団体との情報共有
 いただいた声を取りまとめ、観光連盟会員やその他観光関係団体にデータを送付

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	B
課題	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	30,000	21,632	21,611	25,018	24,588	24,753

事業費						
(単位: 千円)		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算			3,000	2,000	2,000
	決算			3,000	2,000	2,000
一般	予算			0	0	2,000
財源	決算			0	0	2,000
事業費累計				3,000	5,000	7,000

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	これまでに頂いたお客様からの声について、関係団体や事業者間で共有するとともに、改善を求める意見は、対象施設に連絡し、改善を促すといった取組みを積み重ねてきた結果、平成29年度に寄せられたご意見では、「満足」、「やや満足」の評価が81.9%となり、昨年度(平成28年度:82.3%)から引き続き、高評価が8割を超える高い水準を維持できている。
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続	「おもてなし」の向上については、「ほっと石川観光プラン2016」の重点戦略でも掲げられており、引き続き、観光客の意見や要望を的確に把握し、関係団体や事業者等と連携して、観光地石川のイメージアップや、リピーター客の確保につなげていく。

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ウェルカムいしかわ推進事業	事業開始年度 H22	事業終了予定年度	作 組 織 観光企画課
	根拠法令・計画等 ほっと石川観光プラン2016		成 職・氏名 専門員 釣谷 俊介
			者 電話番号 076 - 225 - 1127 内線 3919

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線金沢開業により増加している観光客を「おもてなし」の心を持って迎え、観光地石川のより一層のイメージアップやリピーター客の確保につなげるため、県民総ぐるみで「おもてなし」向上に向けた取り組みを推進し、県民一人ひとりが当事者意識を持つための意識浸透を図る。

<事業の概要>

○「おもてなし講座」の開催

おもてなしについて考えるきっかけづくりを提供する。
 対象:企業や各種団体(公民館、地域団体など)が開催する会合、セミナー、研修会等の参加者や、北陸新幹線開業により、観光客が増加した地区の商店街組合など
 講師:ほっと石川観光マイスター等

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	B
課題	石川ファンの拡大を図るためのおもてなしの向上					
	指標	観光入り込み客数			単位	千人
	目標値	現状値				
	平成27年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	30,000	21,632	21,611	25,018	24,588	24,753

事業費						
(単位:千円)		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算	6,300	5,500	500	500	400
	決算	6,300	5,500	500	500	160
一般	予算	6,300	5,500	500	0	400
	決算	6,300	5,500	500	0	160
事業費累計		18,700	24,200	24,700	25,200	25,600

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	これまで、県民がおもてなしについて考えるきっかけづくりとする「おもてなし講座」などを開催し、おもてなし講座は延べ11,764人が受講している。29年度に観光客から寄せられたご意見も引き続き、「満足」、「やや満足」の評価が8割を超えており、「おもてなし」の維持・向上を図ることができた。
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続	「おもてなし」の向上については、「ほっと石川観光プラン2016」の重点戦略でも掲げられており、引き続き、県民一人ひとりが当事者意識を持つための意識浸透を図り、観光地石川のイメージアップや、リピーター客の確保につなげていく。

事務事業シート（行政経営Cシート）

事務事業名	「旬のいしかわ」ウェブプロモーション事業	事業開始年度	H28	事業終了予定年度	
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作	組	織	誘客戦略課		
成	職	・氏名	主任主事 濱口 紀一郎		
者	電	話番号	076 - 225 - 1537 内線 3944		

◎事業の背景及び目的

インターネットを活用した宿泊予約（2012年：43.3%）や旅行検討段階での情報収集（2013年：43.7%）が増加している状況を踏まえ、インターネット上で個人客をターゲットとした効果的な情報発信を行い、三大都市圏からの誘客の促進を図る。

◎事業概要

1. 内容

(1) 大手旅行予約サイト（楽天トラベル）を活用した情報発信

季節に合ったテーマ（温泉、食、景観等）を設定した県内各地域の観光情報の特集ページを作成・発信するとともに、三大都市圏を対象にメールマガジンを配信することで効果的に誘客の促進を図る。

特集ページ掲載時期 夏(6～8月)、秋(9～11月)

特集ページ掲載エリア 夏：白山・加賀エリア 秋：能登エリア

特集ページ掲載テーマ 夏：白山開山1300年、加賀温泉郷 秋：食・温泉・紅葉

(2) SNSを活用した情報発信

利用が拡大しているSNSを活用し、本県の観光情報の発信を促す投稿キャンペーンを展開することで、SNS上で本県の観光情報の拡散を図る。さらに、誘客促進を図るため、キャンペーンに合わせて特別宿泊プランを造成し、宿泊予約の増加に繋げる。

キャンペーン実施時期 冬(12～1月)

キャンペーンテーマ グルメ、体験

(3) 大手福利厚生代行会社と連携した情報発信

業界最大手の送客効果の高い1社とのタイアップにより、会員専用HP、メールマガジン、会報誌を活用した会員へのダイレクトな情報発信を行う。

- ・会員誌掲載時期 夏(6月号)、冬(12月号)
- ・特集ページ掲載期間 6～9月、12～3月
- ・メルマガ配信時期 年4回(会員誌発行に合わせて各号2回)

2. 事業費 13,500千円(県 9,000千円、市町等 4,500千円)

3. 交付先 (公社) 石川県観光連盟

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	30,000	21,632	21,611	25,018	24,588	24,753	
事業費							
	(単位：千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事業費	予算				9,500	9,000	
	決算				9,500	9,000	
一般	予算				0	9,000	
財源	決算				0	9,000	
事業費累計		0	0	0	9,500	18,500	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	1. 大手旅行予約サイト・SNSを活用した情報発信 対象エリアの宿泊者数が増加し一定の成果が認められた。 ① 夏(白山・加賀特集) H28 61,642人泊 → H29 63,828人泊 ② 秋(能登特集) H28 23,290人泊 → H29 25,725人泊 ③ 冬(SNS) H28 144,230人泊 → H29 154,202人泊 2. 大手福利厚生代行会社と連携した情報発信 キャンペーン期間中の宿泊数(H29)は、H28比では減少したものの、事業開始前(H23)より増加しており、一定の宿泊者を確保でき、着実に成果が上がっている。 H28 15,902人 → H29 13,376人 ※事業開始前(H23) 5,413人					
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	縮小	H24年度から実施してきた大手福利厚生代行会社と連携した情報発信については、本県の観光情報の効果的な発信により、一定の宿泊者を確保できるようになったことから廃止する。 今後は、引き続き大手旅行予約サイトを活用した情報発信を行い、効果的に誘客の促進を図る。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	ほっと石川観光プラン推進ファンド事業資金貸付金	事業開始年度	H28	事業終了予定年度		作成者	組織	観光企画課	
		根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016				職・氏名	主事 夷藤 昂	
						電話番号	076 - 225 - 1126 内線 3917		

事業の背景・目的
 平成28年3月に策定された「ほっと石川観光プラン2016」に基づき、(公社)石川県観光連盟に必要な資金の貸し付けを行い、観光振興事業の円滑な実施を支援する

事業の概要
 1 貸付額 149,150千円
 2 貸付先 (公社)石川県観光連盟

【参考】実施事業内容
 ○能登・加賀・金沢における各地域での魅力づくり
 能登ふるさと博の開催(夏、冬、10周年記念イベント)、白山開山1300年記念イベントの開催(6月、10月)、加賀四湯博の開催(6月～3月)、金沢での食と音楽によるイベント(冬)や魅力的な観光素材づくり

○いしかわ旅行商品プロモーション会議の開催
 市町・観光団体等が発掘・磨き上げた観光素材を旅行会社の商品造成責任者に提案し、助言を受ける会議の開催

施策・課題の状況							
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大					評価	B
課題	石川ならではの魅力の発信						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	30,000	21,632	21,611	25,018	24,588	24,753	
事業費							
	(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事業費	予算				92,000	149,150	
	決算				92,000	149,150	
一般財源	予算				0	0	
	決算				0	0	
事業費累計					92,000	241,150	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B	北陸新幹線金沢開業効果を全県に波及させるため、各地域での魅力づくりや旅行商品造成に向けた取り組みの推進等を行った結果、観光入込客数は、前年比約100.7%の約24,753千人、平成26年比も約114.5%と開業前を大きく上回っており、開業効果は全県に波及している。					
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	継続	引き続き、北陸新幹線金沢開業効果の全県波及のため、各地域での魅力づくりや旅行商品造成に向けた取り組みの推進を行い、県内全域への誘客を図る。					

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 加賀温泉旅館等誘客促進事業	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	
	根拠法令・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作成者	組織	観光企画課			
	職・氏名	主事 大橋 加奈			
	電話番号	076 - 225 - 1542 内線 3927			

<事業の背景及び目的>

東海北陸自動車道及び世界遺産登録の五箇山・白川郷エリアと、加賀温泉郷・辰口温泉・白山温泉郷・金沢温泉郷の観光連携を図り、誘客を促進するために、白山白川郷ホワイトロード通行料の優待企画を実施する。

<事業の概要>

- 白山白川郷ホワイトロード「温泉に泊まって」片道無料キャンペーン(18,000千円)
- (1) 白山白川郷ホワイトロード通行料金の実質片道無料化(15,500千円)
- ①対象者 自家用車等を利用して加賀地域の協賛宿泊施設に宿泊した人
 - ②協賛宿泊施設 92施設(あわづ温泉6、片山津温泉11、山代温泉18、山中温泉17、辰口温泉3、白山温泉郷35、金沢温泉郷2)
 - ③実施期間 平成29年6月11日～11月10日の予定(白山白川郷ホワイトロード供用期間中)
 - ④料金体系(片道) 普通車1,600円、軽自動車1,400円、マイクロバス4,900円、大型バス10,800円
- (2) 広報宣伝の実施(2,500千円)
- ①協賛宿泊施設、観光関連団体、道の駅、三大都市圏などへの広報チラシ・ポスターの配布(10万枚)
 - ②「感動十景」(夏・秋号)への広告掲載
 - ③好日山荘店頭での広告及びメールマガジン配信による広報宣伝
 - ④るるぶ.comトップページバナー掲出による広報宣伝
 - ⑤女子旅プレスインスタグラム投稿による広報宣伝

施策・課題の状況						
施策	県民生活との調和を図りつつ、観光客の満足度を高め、繰り返し本県を訪れていただくよう石川ファンを拡大				評価	B
課題	広域連携による県域を越えた周遊観光の促進					
指標	観光入り込み客数				単位	千人
目標値	現状値					
平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
30,000	21,632	21,611	25,018	24,588	24,753	

事業費						
	(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算	27,166	33,000	18,000	18,000	18,000
	決算	27,075	26,749	11,492	11,098	8,841
一般財源	予算	27,166	33,000	18,000	18,000	18,000
	決算	27,075	26,749	11,492	11,098	8,841
事業費累計		161,446	188,195	199,687	210,785	219,626

評価						
	項目	評価	左記の評価の理由			
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>		B	H29年度は大雨や台風通過の影響により、白山白川郷ホワイトロードの利用台数は減少したが、キャンペーンを利用したお客様からは「来年もぜひ実施してほしい」という声があるなど、宿泊者数の確保策として着実な効果がある。			
			H27	H28	H29	
			開通期間(一部・全線)	155 日間	160 日間	155 日間
			利用台数	77,530 台	61,258 台	59,034 台
			日平均台数	500 台	383 台	381 台
		片道無料キャンペーン	6,479 台	6,213 台	4640 台	
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県間身のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>		継続	本キャンペーンは宿泊者数の確保策として着実な効果があることから、加賀・白山地域を中心とした誘客対策のひとつとして引き続き実施する。宿や料金所に到着して、初めてキャンペーンを知ったというお客様や、帰宅してからキャンペーンを知ったというお客様もいることから、インターネット広告の活用やサービスエリアでのチラシの配架など、もれなくお客様がキャンペーンを利用できるよう、周知を図る。			

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 次代を担う石川の観光人材育成事業	事業開始年度	H28	事業終了予定年度	
	根拠法令 ・計画等	ほっと石川観光プラン2016		

作 組 織	観光企画課
成 職・氏名	主任主事 宮本 達矢
者 電話番号	076 - 225 - 1127 内線 3923

<事業の背景及び目的>

北陸新幹線開業により新たなステージに入った本県の観光を、将来にわたり石川の活力を牽引する基幹産業として飛躍・発展させるため、産学官が連携して、本県の観光産業の次代を担う人材の育成を図る。

<事業の概要>

- 「いしかわ観光創造塾」の開催
- ・宿泊、交通、旅行業、観光施設、飲食などの幅広い観光関連事業の若手経営者や幹部候補等を対象に、観光に関わる多様な分野の人々と連携・協力して、自社の経営のみならず観光産業ひいては地域の活性化に貢献できる人材を育成
- 期間：平成29年5月～平成29年11月
 講座：10回
 内容：ケースメソッドやアクティブラーニングを実施し、時代のニーズに適合した経営戦略や、観光による地方創成を担う一員として活躍するために必要な、マーケティングやマネジメントなどの能力養成を目指す

施策・課題の状況							
施策	次代を担う石川の観光人材の育成に向けた取組を強化					評価	B
課題	観光振興を担う人材の育成						
	指標	観光入り込み客数				単位	千人
	目標値	現状値					
	平成37年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	30,000	21,632	21,611	25,018	24,588	24,753	

事業費					
(単位：千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費 予算				3,000	3,000
事業費 決算				1,577	2,850
一般 予算				0	3,000
財源 決算				0	2,850
事業費累計				3,000	6,000

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 <small>(費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)</small>	B	多様な業種(宿泊、飲食、交通、観光施設等から17名)から参加があった第1期いしかわ観光創造塾の開催により、分野を超えたネットワークの構築による新たなビジネスの創出や魅力あるサービスの提供を後押しし、受講生が連携したツアーの販売が実現するなど、一定の成果があった。また、修了時のアンケートでは、満足度は83%と高い評価を得ている。
今後の方向性 <small>(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)</small>	継続	「観光人材の育成」は、「ほっと石川観光プラン2016」の重点戦略でも掲げられており、観光立県を標榜する本県観光の将来を担う人材の育成について、観光連盟や関係団体と連携して、しっかりと取り組んでいく。